

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年5月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ジョージア大学 現地言語: 英語
留学期間	2021年8月～2022年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年5月26日
明治大学卒業予定年	2024年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～1月初旬 2学期:1月初旬～5月初旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	37,606
創立年	1785

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料		0円	交換留学のため
宿舍費		80万円	McWhorter Hall
食費		50万円	Meal plan
図書費		5万円	textbook
学用品費		円	
携帯・インターネット費		5万円	
現地交通費		円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		5000円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		60万円	色々ありました
ビザ申請費		円	
雑費		40万円	
その他		円	
その他		円	
合計		200万円	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
往路 出発地:羽田 目的地:ジョージア州 経由地:無し 復路 出発地:ジョージア州 目的地:羽田 経由地:無し
<b>渡航費用</b>
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:Delta 料金:約 20 万 復路 航空会社:JAL 料金:約 40 万 ∴合計:約 60 万
<b>航空券購入方法</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: HIS) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input type="checkbox"/> その他( _____)

## 滞在形態関連

<b>1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Mcwhorter) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2)部屋の形態</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)
<b>3)共有部分</b>
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4)住居を探した方法:</b>
Bulldog housing
<b>5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
大麻のにおいがきついです。それを除けば、一人部屋が確保されていたためプライベート空間があり快適でした。

## 現地情報

<b>1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)</b>
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: UGA health center)
<b>2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)
<b>3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</b>
友人、UGA website、LiveSafe(オリエンテーションでインストール推奨されます)
<b>4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</b>
キャンパス内・寮では WiFi の設備があったためインターネット接続環境は良かった
<b>5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</b>
現地での口座開設(Bank of America)、両親からの送金、日本で発行したクレジットカード(Visa と Master)
<b>6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。</b>
調達できないものはほとんどありません。ただ、アメリカは物価が日本より高いため、日本からあらかじめ生活必需品(シャンプー等)を持ち込むことをお勧めします。
<b>7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</b>
なし

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか? prerequisite がある科目は要注意	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MARK 3000: Principles of Marketing	マーケティング基礎
科目設置学部・研究科	Terry College
履修期間	Fall Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Dr. Kimberly Grantham
授業内容	Modul 1: Ethics and Environment Module 2: COConsumer Behavior and Sengmentation Module 3: Research, product concepts and developing products Module 4: Marketing Channels, Supply chain and Logistics Module 5: Price Module 6: Promotion Module 7: Services, Global Marketing and Market Strategy  「まとめ」 ・市場における消費者行動や取り巻く環境等を網羅的に勉強した後に、4P(Price, Place, Product and Promotion)等実際にマーケティングする際の戦略を教わる。
試験・課題など	Exam 1~4, Exam 4 はオプション 課題は無し。
感想を自由記入	マーケティングについて基礎から勉強できるため、マーケティング知識が一切なかった自分にとってはかなり満足度が高かった。ただ、経営学部の方等日本でマーケティングを履修している人からすると重複内容の履修に過ぎないかもしれないのでそこは注意が必要だと感じました。  ちなみに、Principle of Marketing を履修する際の Prerequisite は Management だったので明治大学であらかじめ履修しておく Fall Semester から履修できると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ADPR 3850: Introduction of Public relations	広告関係論
科目設置学部・研究科	おそらく Terry College
履修期間	Fall Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Michael A. Cacciatore

授業内容	Unit 1: Defining and Contextualizing PR Unit 2: The PR Process Unit 3: PR Tactics and Audiences Unit 4: Applications of PR  広告の歴史から現代広告(メディアで使用されているもの)の特徴等を学ぶことがメインです。
試験・課題など	Exam 1~4 学期末:Essay (10 pages)
感想を自由記入	受講した時期が Fall Semester で自分の英語力不足もあり講義の内容があまり理解できなかった。また、教授はアメリカのポップカルチャーを例にとって広告の説明をすることが多かったため、その文化を良く知らない自分にとっては理解しにくかった。ただ、アメリカのポップカルチャーを良く知っているという人にはおすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
FHCE 2100: Introduction to Consumer Economics	
科目設置学部・研究科	不明
履修期間	Fall Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	MOORMAN
授業内容	MODULE #1. Introduction: Economic Decision Making in Families MODULE #2. [Issue #1]: Education: How much is enough? MODULE #3. [Issue #2]: Family Production of Income MODULE #4. [Issue #3]: Family Financial Management MODULE #5. [Issue #4]: The Economics of Marriage. I do, don't I? MODULE #6. [Issue #5]: The Economics of Buying a House AND The Housing Crisis MODULE #7. [Issue #6]: Starting a family: The Economics of Fertility MODULE #8. [Issue #7]: The economics of family policies and retirement.  家計の収入・支出の観点から消費者が購買する製品の違いを分析します。
試験・課題など	Exam 1~7 課題は無し
感想を自由記入	可も不可もない授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MGMT 5980 - Lessons in Leadership	リーダーシップ論
科目設置学部・研究科	Terry College
履修期間	Fall Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	James H. Hopkins
授業内容	Leadership Tool box, Introduction to leadership by Northouse Chapters, Leading Change by John Kotter Text Chapter Reading, HBR's On Leadership lessons from sports

	リーダーシップとは何を意味するのかを毎週例を交えて学ぶ。(例: Business is all about results, Role vs Position and competence, Change, Situational Awareness, Integrity, Self-Awareness, Results Leadership Process, Skeptics vs Cynics, Commitment, Passion, Curiosity, Management vs Leadership, Trust vs Fear, Fail fast and small, Be an accountability owner, take measured risk, let go and empower people, listen first, lead by example, culture matters, hire best first, SKA, Crisis must be led, Moral courage, Values are the guderalls, lead different people differently, don't wast good, great leaders serve, Leaders are different, leaders eat last)
試験・課題など	Exam 1 and 2 (cumulative) Assigment: 毎週四つ
感想を自由記入	一番好きな授業でした。リーダーシップというある程度概念的なものを教科書を使って丁寧に説明して頂いたため分かりやすかったです。今後の日常生活でも使っていきたいと思う知識が多かったです。ただ、教科書を合計7冊読むことや毎週の課題(ショートコメントやニュースへのコメント)をやらなければならなかったため多少時間が掛かりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
REAL 4000: Real Estate	不動産
科目設置学部・研究科	Terry College
履修期間	Spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ryan B. Dietz
授業内容	1. Foundations and residential real estate 2. commercial real estate  住宅ローン投資等の計算を行いました。
試験・課題など	Exam 1~4
感想を自由記入	やっている内容というよりも、扱っている語句(ex. mortgage,)が難しく苦戦しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Economics 2106: Principles of Microeconomics	ミクロ経済学
科目設置学部・研究科	おそらく Terry College
履修期間	Spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Dr. Morgan Taylor
授業内容	Production Possibilities Frontier, Demand and Supply, Shortage and Surplus, Price Elasticity, Price Ceiling and Price Floor, Positive and Negative externalities, Consumer Budget line 等  消費者と生産者の二つの関係性に着目したテーマが多かった。市場に出回る製品の価格がどのような工程を踏んで決定されているのかについての知識を得ることができた。

試験・課題など	Exam 1~3 plus Final exam 課題:毎週
感想を自由記入	経済学の知識が皆無だったため、価格決定などの論理を理解することができた良い機会だと感じている。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	BUSN 3000: Applied Statistics and Data Analysis for Business	履修した授業科目名(日本語):	ビジネスにおける応用統計学とデータ分析
科目設置学部・研究科	Terry College		
履修期間	Spring Semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Dr. Daniel J. Carlyle		
授業内容	Surveys and Sampling, Displaying and describing categorical data, quantitative data, randomness and probability  統計学の基礎を学ぶ内容です。		
試験・課題など	課題:毎週 Exam: midterm 1 and 2, plus Final exam		
感想を自由記入	この講義で学んだ内容を今後日常生活やビジネスの場面で生かすか殺すかは自分次第だなと感じました。というのも、統計やデータ分析の内容を突き詰めてしまうとコンピューターサイエンスの分野に足を踏み入れてしまうことになるからです。いずれにせよ、統計等の基礎的な知識を得られた貴重な講義であることに変わりありません。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	MARK 4650S Digital Marketing Analytics	履修した授業科目名(日本語):	デジタルマーケティング
科目設置学部・研究科	Terry College		
履修期間	Spring Semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Jennifer Osbon		
授業内容	Google Analytics, Google Ads search, Facebook and Instagram, Salesforce Marketing Cloud  グーグル・メタ・セールスフォースがインターネット上においてどのようなマーケティング戦略をとっているのかについて基礎から応用までを学ぶ。そこで得た知識を個人プロジェクトに応用し、実際に行われている一企業をマーケティングの視点から分析してレポートとして提出する。		
試験・課題など	課題 Moneyball (映画を見てリアクションペーパーを書く) Google Analytics Certification Google Ads Facebook Blueprint Salesforce Marketing Cloud の四つの Certification (無料)を取る		

	Project: 四つ(Measurement Strategy and Ad campaign recommendation) Exam 1~4
感想を自由記入	GAFA の一角のマーケティング戦略を学ぶことができた貴重な機会であった。プロジェクト 4つ・テスト4つ・Certification4つ獲得をしなければならなかったので大変だった。ただ、おすすめの授業です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
1100 Psychology	心理学
科目設置学部・研究科	不明
履修期間	Spring Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. John Achee
授業内容	The science of psychology Chap. 1 & 2 Sigmund Freud Chap. 13 (Section 13.3 only) Cognitive psychology Chap. 7 & 8 Social psychology Chap. 12 Developmental psychology Chap. 9 Motivation and emotion Chap. 10 Health psychology Chap. 11 Psychological Disorders / treatment Chap. 14 & 15  様々な分野の心理学領域を広く浅く学ぶことができる。
試験・課題など	Test 1~4 Reaction paper: 1th to 3rd
感想を自由記入	心理学の授業内容自体は面白いですが。ただこの教授を受講することはお勧めしません。理由としては、現代社会において口頭だけで授業を行う+授業中のパソコン使用禁止+要点が分かりづらい+生徒が質問をしても的確な回答をしない等が挙げられます。自分はこの教授の授業を受講したことを後悔しました。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	こちらに記載するスケジュールは、かなりレギュラーになっているため参考にならないと思いますがご了承ください。(コロナの影響)
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	出願手続き
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	一度留学がキャンセルになる
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	



## 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

「留学するかどうか迷っている人へ」

留学するか迷う理由は人それぞれだと思います。例えば「英語力が無いから不安である」だったり、海外で生活したことが無いから想像ができなくて怖い等。ただ留学を経験した一個人として言えることは、「留学をすれば自分なりに何か一つ達成したと胸を張ることができますし、異国に身を置いた際に自分がどうやって過ごしたらいいか適応できる能力も身に付く」ということです。

「留学を志す後輩へ」

留学して何がしたいか明確にしてから留学に行ってくださいと言われることが多いと思います。もちろん目標を明確に持ってから留学に行けば留学初日からやりたいことに向かって突き進めるかもしれません。もしそうだとしたら私は尊敬します。自分は特に明確な目標を持って留学をしたわけでは無かったからです。(強いて言えば英語力を向上させる?→別に日本にいてもできます笑) 取り合えず留学をして、様々なことを経験すればそこから自ずと自分のやりたいことが見えてくるかもしれません。まずは、留学をするという行動から始めるのも一つの手かなとは思っています。

「留学生活全般」

授業とサークル(Fall semester 2つとSpring semester2つ)を行っていました。週末は、遊びに行ったりテスト勉強したりとランダムでした。

「留学先を選んだ理由」

ジョージア大学のビジネススクールの評判が高かったからです。

「最後に」

後輩の皆さん、何か相談事があったらいつでも声かけてください！国際教育事務室を通して自分と連絡が取れると思います。